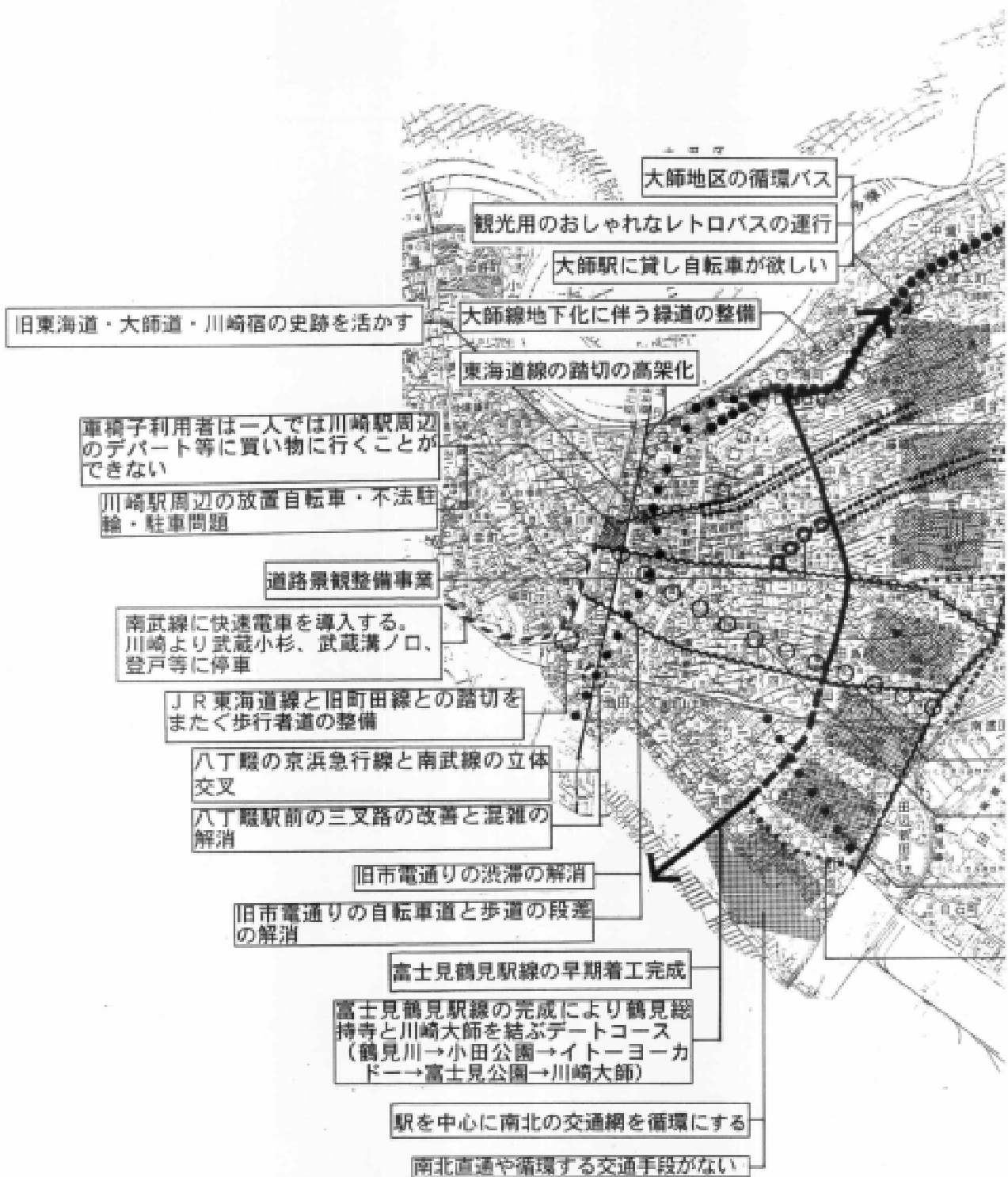




都市環境（水と緑・景観）

1 課題の分類

ワークショップで出された都市環境の課題を分類し、図にまとめました。

●課題のまとめ図

都市公園の整備

大師地区内の公園の再整備

住民が緑の計画、植樹、管理に参加できるようにする

小さな公園にも大きな木を植えて日影をつくる

● 住民が完成する前にみどりの開発に参加したい

掃除するのはボランティア、公園の愛護会をつくる

身近な公園の整備

都市公園の充実

（桜川公園や小田公園など一部未整備の公園の整備を促進、富士見公園の施設改善や再編）

リフレッシュパーク事業の推進

● 小田・桜川公園などの再整備

富士見公園とその周辺の整備

富士見公園を改造する

桜川公園を緑の多い憩いの場所として整備する

許可を得ずにスポーツができる場所がほしい

現在ある公園の利用・活性化

水辺空間の活用

トンボ池など生態系のある水辺や自然が街中にほしい

おたまじゃくしとかがにいるような昔のような池が欲しい

暗渠になっている河川を親水川に

緑のネットワーク形成

街路樹・グリーンベルトの愛護育成を行政・住民一体で進める

街路樹を植える

街路緑化の推進

植樹して緑地を増やす

京急大師線地下化に伴う敷地を緑道にする

マンション、集合住宅の屋上に緑地帯をつくる

自転車が通りやすいような街路樹やグリーンベルトの整備

その他

自分たちの町を自分たちで考えよう

平和通り商店街は段差があって危険
歩道が狭くて通りにくく、車椅子で通ることができない計画性のある道路整備を

道路になっている民有地をもっと通りやすく、危なくないように

川崎区の子供たちが自然に親しむにはお金をかけて他の区か市にいかねばいけない

凡例

大きなくくり

区づくり白書の内容

ワークショップでの意見

2010 新中期計画

●は内容を深めていきたい、検討したい項目

水と緑のネットワーク形成

せせらぎのある都心部をつくる
(銀柳街、国道15号、新川通り、市役所通り)

浮島町公園周辺を市民の大切な水辺として整備する

● 市民健康の森づくりの推進

うるおいのある緑や水が欲しい

田島地区に水と親しめるコミュニティ
ロードの整備

多摩川の活用（河川等）

● サイクリングロードを浮島町公園まで つなげて欲しい

多摩川を川から海への行楽の場として整備する

海や多摩川を気軽に親しめる環境に

多摩川河川敷（六郷橋付近）の整備

住民の暮らしに役立ち、商店街の振興につ
ながる環境づくり
多摩川河川敷の整備

多摩川の花畑を市民に開放する

多摩川の自然を市民生活に溶け込ませる

多摩川沿いは工場群の裏となっている

河川敷を整備し、桜並木をつくる

歴史的な文化遺産の活用

旧東海道・大師道・川崎宿の史跡を活かす
ストリートファニチャー（ベンチ、
ゴミ箱など）の設置
カラー舗装によるふれあいのある商
店街の形成

史跡をアピールして町を活性化する

地区の特性を生かした街並み形成

街区（児童）公園は地域特性を生か
し、住民自身の手で維持管理

● 商店街のなかに市民交流の場をつくらう

校庭の開放 富土見周辺地区の整備

交通騒音や空気のよどみ等で「うるお
い」が感じられない

大師線跡地を迂回道にする

地区の特性を生かした景観づくり

八丁駅前に公園をつくる

表情豊かな拠点景観の形成

都市景観形成推進事業の促進

街灯を増設し、明るいまちづくり
をめざす

臨海部を市民の手に

● 臨海部に砂浜、海水浴場、海浜公園等を

海浜公園が欲しい（工場ばかりの海では
なくデートができるおしゃれな海辺）

東扇島地区の緑地整備

臨海部には水に接する場所がない

水際がコンクリートで固められている

放置車両やゴミで一杯のちどり公園駐車場



【コラム】

ワークショップや中間報告会での意見を紹介します。

- ・河川敷の整備と土手に桜並木を作り大師へ繋がるイメージ。
- ・海を市民へ。川崎区は唯一海のある区。しかし臨海部は海を埋め立てて造成し一大工業地となり市民は企業に海を奪われた。今落ち込んだ臨海部の再生のため、国・県・市は躍起になっている。私は物づくりによる臨海部の活性化の発想を転換して「市民健康の森」を中心に海を市民に返し、物づくりと共生できるいきいきとした臨海部を構想すべきであるとする。
- ・富士見球場跡地に多目的ホールを造って欲しい。
- ・若いお母さんが来やすくなる、子どもを安心して遊ばせられる場所づくり。
- ・ちどり公園を良くしたい。交通の便を良くする。